

Japanese Utility Model Registration No. 3051963

Registration date: 24 June 1998

Application No.: 9-6288

Filing date: 16 June 1997

Owner: Mr. GOTO, Masaki, Tokyo

Claim:

A system of preparing point making-up cosmetics of original colors in agreement with her/his favor or fashion tendency, in which system point making-up cosmetic substances such as for lipstick, eyeshadow and rouge are kneaded, the substances thus kneaded are contained in a tubular receptacle or an elastic resinous receptacle whereby they can be cleanly used in a quantity needed for mixing, the color constituents of the total tone are mixed for use, and on this premise a color group of basic tone is separated from a group of color tone for modifying color phase, brightness or quality feel so that it is easy to prepare her/his favorite coloring.

EXAMPLE

The invention will be described more in detail, by way of Example, with reference to the accompanying drawings.

The reference numeral 1 designates a color group of basic tone contained in a tubular receptacle or an elastic resinous receptacle, 2 colors of basic tone, 3 a pallet or the like, 4 a lipstick brush or the like, 5 a group of adding colors contained in said receptacle, in which 5-a is blue, 5-b yellow, 5-c white, 5-d black, 5-e golden, 5-f silvery, 5-g pearl, 5-h gloss and 5-i mat respectively.

The color 2 of basic tone to be prepared is selected from among the color group 1 of basic tone, they are put in a suitable

quantity on a pallet, and an adding color is selected from the group of adding colors whereby they are mixed by the lipstick brush or the like to prepare a color of her/his interest.

For example, in the case of the color 2 of basic tone is red, a color of rose base color phase can be obtained by selecting for mixing from the adding color group 5 while a color of brown base color phase can be obtained by selecting the 5-b yellow therefrom. Further, by mixing the prepared rose base color with the 5-c white it is possible to obtain a pinc base color and by mixing the brown base color with the 5-d black it is possible to obtain a dark brown base color. Furthermore, by mixing them with the 5-e gold or the 5-f silver it is capable of obtaining metallic colors and by mixing them with the 5-g pearl a pearl color can be obtained. In addition, by mixing with the 5-h gloss or the 5-i mat or applying them onto the coated colors it is possible to obtain a quality sense of calendering or matting.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) **登録実用新案公報 (U)**

(11)実用新案登録番号

**第3051963号**

(45)発行日 平成10年(1998)9月11日

(24)登録日 平成10年(1998)6月24日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
A 6 1 K 7/00  
7/02

識別記号

F I  
A 6 1 K 7/00  
7/02

L  
Z

評価書の請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 5 頁)

(21)出願番号 実願平9-6288

(22)出願日 平成9年(1997)6月16日

(73)実用新案権者 597098453

後藤 正樹

東京都豊島区高松2-54-5

(72)考案者 後藤 正樹

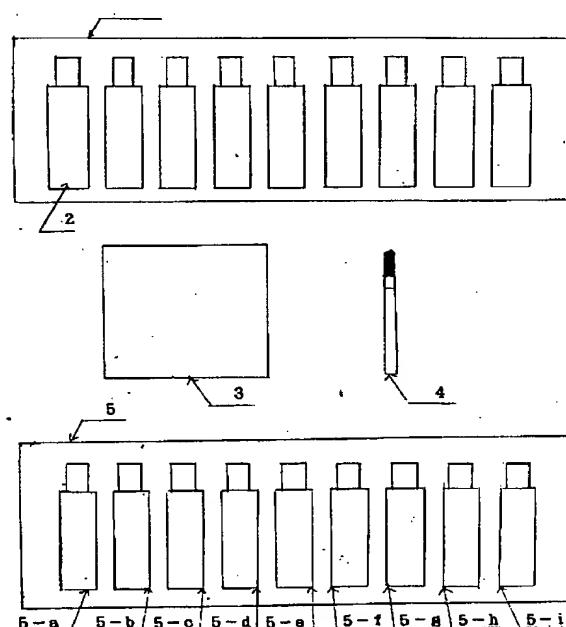
東京都豊島区高松2-54-5

(54)【考案の名称】 ポイントメーキャップ化粧品オリジナルカラー クリエイションシステム

(57)【要約】

【課題】 本考案は口紅、アイシャドウ、ほお紅等のポイントメーキャップ化粧品の材形を練り状にし、チューブ状又は弾力性のある樹脂性の容器に入れ、混ぜ合せるのに必要な量を清潔に使えるようにし、尚かつ全体の色調構成を混ぜて使用するのを前提にし、基本となる色調のグループと色相や明度や質感を変えるためのグループに分ける事で自分の好みやファッショントンにあわせてオリジナルカラーのポイントメーキャップ化粧品を作りやすくする。

【解決手段】 本考案は基調色グループ1から作りたい色のベースとなる基調色2を選び、適量を3のパレット等に押し出し、色相や明度や質感を変えるための5の加色グループの中から青、黄、白、黒等の加色を選び、必要量を4の紅筆等で混ぜ合せる事で自分の好みやファッショントンに合う色を作りだす事に役立つ。



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】自分の好みやファッショントン傾向にあわせてオリジナルカラーのポイントメーキャップ化粧品をつくるシステム。□紅、アイシャドウ、ほお紅等のポイントメーキャップ化粧品の材形を練り状にし、チューブ容器あるいは弾力性のある樹脂性の容器に入れ、混ぜ合わせるのに必要な量を清潔に使えるようにし、尚かつ全体の色調構成を混ぜて使用するのを前提にし、基本となる色調のグループと色相や明度や質感を変えるための色調のグループに分けることで、自分の好みの色をつくりやすくするシステム。

## 【図面の簡単な説明】

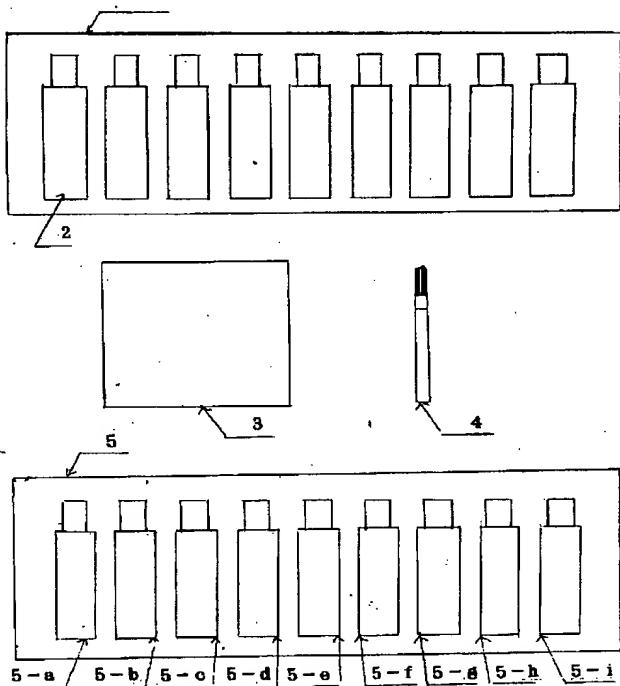
【図1】本考案のポイントメーキャップ化粧品オリジナルカラークリエイションシステムの一実例を示す正面図である。

2

## \*【符号の説明】

- 1 基調色グループ
- 2 基調色
- 3 バレット等
- 4 紅筆等
- 5 加色グループ
- 5-a 青
- 5-b 黄
- 5-c 白
- 5-d 黒
- 5-e 金
- 5-f 銀
- 5-h パール
- 5-g グロス
- 5-i マット

【図1】



**【考案の詳細な説明】****【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は自分の好みやファッショントリニティにあわせてオリジナルカラーのポイントメイクアップ化粧品をつくりやすくするための容器、及び全体の色調構成についての考え方に関するものである。

**【0002】****【従来の技術】**

従来の口紅、アイシャドウ、ほお紅等は自分の好みの色を混ぜあわせてつくるのには、その材形が固練り状砲弾形や練り状あるいは粉状中皿形の為、混ぜ合わせの際分量の調整が難しかったり、均一に混ざらなかったり問題があった。又、色調体系についても混せて使用することを前提にしておらずカラークリエイションに不都合があった。

**【0003】****【考案が解決しようとする課題】**

自分の好みやファッショントリニティにあわせてオリジナルカラーのポイントメイクアップ化粧品をつくりやすくする為、その材形や容器及び全体の色調構成を混ぜあわせるのに便利にし、前述の欠点を解消しようとするものである。

**【0004】****【課題を解決するための手段】**

材形については色材に流動パラフィン等を加え練り状にし混ぜ合わせやすくする。更に容器については、チューブ状又は弾力性のある樹脂性とし必要な分量を清潔にパレット等に出せるようにする。又、好みの色をつくりやすくする為全体の色調構成を赤等を中心とする基調色のグループと、色相や明度や質感を変える青、黄、白、黒、金、銀、パール、グロス（つや出し）、マット（つや消し）等の加色のグループに区分することで問題点を解決している。

**【0005】****【考案の実施の形態】**

基調色を容器から適量パレット等に押し出し、加色を必要量加え紅筆等で混ぜる事で、色相や明度や質感を変え自分の好みの色を造り上げるようにする。

#### 【0006】

##### 【実施例】

以下、添付図面に従って一実例を説明する。1はチューブ状あるいは弾力性のある樹脂容器に入った基調色グループ、2は基調色、3はパレット等、4は紅筆等、5は同様の容器に入った加色グループ、その色は5-aが青、5-bが黄、5-cが白、5-dが黒、5-eが金、5-fが銀、5-gがパール、5-hがグロス、5-iがマットである。

#### 【0007】

1の基調色グループから作りたい色のベースとなる基調色2を選び、3のパレット等に適量出し加色グループ5から加色を選び4紅筆等で混ぜる事で、自分の作りたい色を作る。

#### 【0008】

例えば2の基調色が赤の場合、5の加色グループから5-aの青を選び混ぜる事でローズ系、5-bの黄を選び混ぜる事でブラウン系の色相の色が得れる。又、できたローズ系の色に5-cの白を混ぜる事でピンク系の色が、ブラウン系の色に5-dの黒を混ぜる事でダークブラウン系の色が明度を変える事で得れる。更にそこに5-eの金や5-fの銀を混ぜる事でメタリックカラーが、5-gのパールを混ぜる事でパールカラーが得れる。加えて、5-hのグロスや5-iのマットを混ぜるか、色を塗布した上に塗る事でつや出しやつや消しの質感を得る事ができる。

##### 【考案の効果】

上述の様に、本考案のポイントメーキャップ化粧品オリジナルカラークリエイションシステムは口紅、アイシャドウ、ほお紅等のポイントメーキャップ化粧品の材形を練り状にし、チューブ容器あるいは弾力性のある樹脂性の容器に入れ、混ぜ合せるのに必要な量を清潔に使えるようにし、尚かつ全体の色調構成を混ぜて使用するのを前提に基本となる色調のグループと色相や明

度や質感を変えるための色調のグループに分けることで、誰にでも手軽に自分の好みの色を作り出すこと、即ちカラークリエイションを楽しむ事に役立つ。